

鶴舞公園内コース

第10回関西府県連合共進会の会場として、1909年に設置された名古屋市設置第1号の公園です。“つるまい”ではなく、“つるま”公園と呼ばれます。

市公会堂

昭和天皇の御成婚記念として1930年に完成しました。戦後は進駐軍に使用されていましたが、1956年に名古屋市に返還されました。レトロ調建築は市民に愛され、式典や講演会、学校行事等に利用されています。

噴水塔

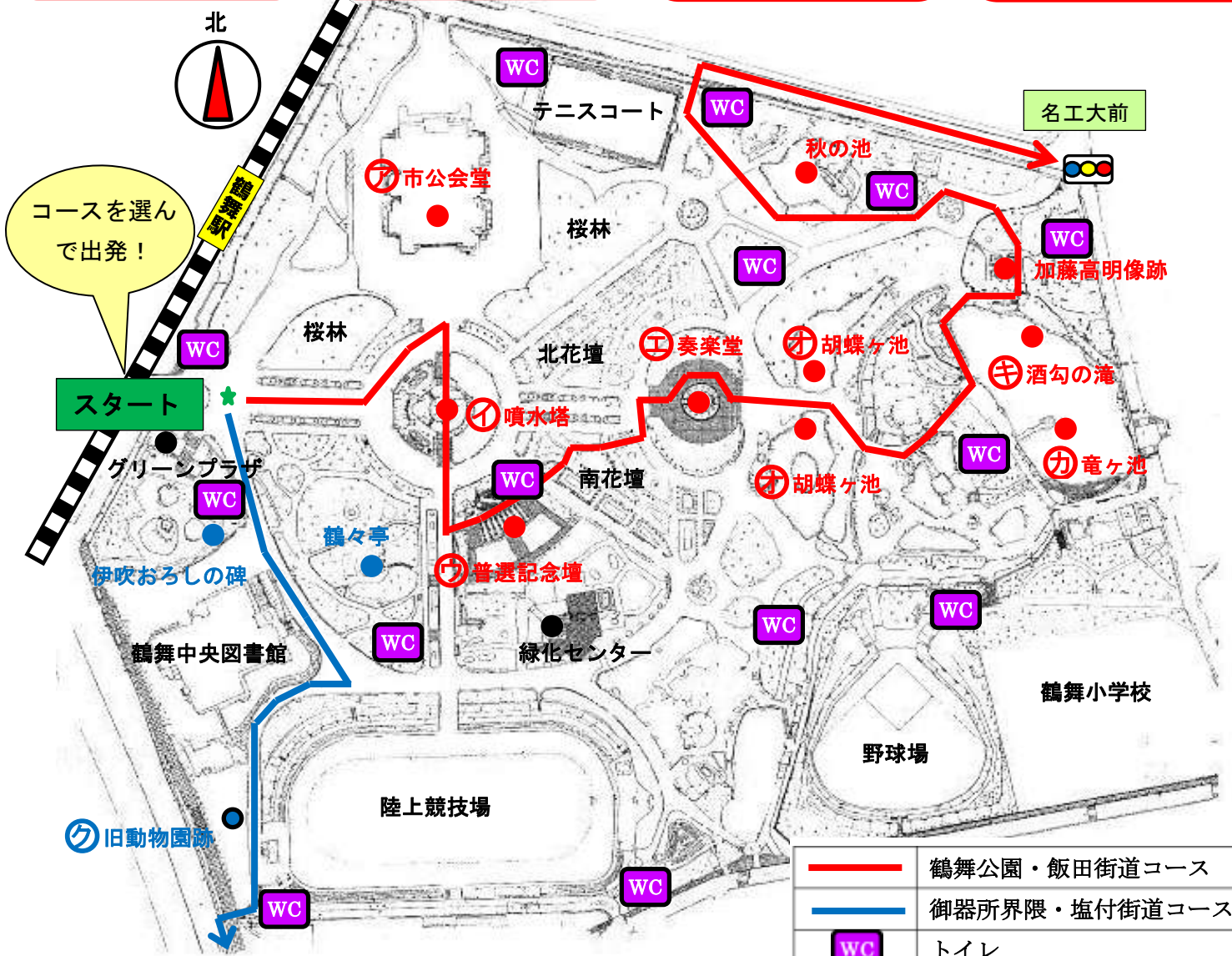
共進会の施設として造られましたが、1973年に地下鉄鶴舞線の建設工事に伴い解体され、1977年に築造当時の姿に忠実に復元されました。市指定文化財に指定されています。大理石の円柱と周囲の岩組みは必見です。

普選記念壇

1925年の普通選挙制度の成立を記念して、1928年に名古屋新聞社（現・中日新聞社）より寄贈された野外劇場です。ステージ後壁に「五箇条の御誓文」が掲げられています。市指定文化財に指定されています。

奏楽堂

共進会の施設として造られました。1934年に室戸台風の被害を受けたため取り壊され、1937年から1995年まではデザイン異なる奏楽堂が建てられていましたが、1997年に築造当時の姿に復元されました。



コースを選んで出発！

スタート

旧動物園跡

1918年から19年間、名古屋初の市立動物園がここにありました。1937年に東山動物園に移転したため、現在は門柱2基を残すのみとなっています。移転の際、象は夜中に歩かせて移動させたと言われています。

酒勾の滝

補給水が断られた竜ヶ池にビール工場の冷却水の余り水を引いて落差4mの滝としました。当時の工場長・酒勾常仲氏にちなんで名づけられました。現在ビール工場は閉鎖し、循環ポンプで池の水を落としています。

竜ヶ池

もともとは農業用のため池でしたが、公園全体を西方に見渡せる位置にあるため、共進会の折には眺望台設置場所として、またボート池として残されました。眺望台のあったあたりには現在は浮見堂があります。

胡蝶ヶ池

共進会の折に造られた池で、池の中央には東西に渡した鈴菜橋を架け、左右の池が蝶の羽を広げた形になっています。南半分は、戦後進駐軍により埋め立てられ、ベビーゴルフ場になっていましたが、1955年に復元されました。

昭和区の埋蔵金探しウォーキング

鶴舞～川名



歩いて発見！昭和区の宝物



編集後記

昭和区のまちの隠れた魅力（＝埋蔵金）を再発見しようと、昭和鯉城会及び桜花学園高等学校インターアクトクラブ、一般公募委員の皆さん32名が調査活動を行い、鶴舞から川名までの昭和区西部を中心とするウォーキングコースを作成しました。調査にあたっては、桜花学園高等学校の河合保昌先生、自然観察指導員の篠田陽作先生、昭和区案内人クラブの皆さんからご指導いただきました。

「鶴舞公園・飯田街道コース」と「御器所界限・塩付街道コース」の2コースを作成しましたので、その日の気分に応じて、好きな方を選んで歩いてみてください。普段は何気なく歩いている場所にも、新たな発見があるかもしれません。
参考文献：昭和区誌、マップ「THE SHOWA」vol.1 塩付街道・飯田街道、vol.2 郡道、vol.4 鶴舞公園、vol.7 御器所台地、vol.8 吹上・松栄
(発行：平成24年3月25日 昭和区役所区民生活部まちづくり推進室 ☎052-735-3822)



調査活動の様子



ウォーキングのマナー

- 交通ルールを守り、安全にウォーキングをしましょう。
- 一般の歩行者や自転車に気をつけ、広がって歩かないようにしましょう。
- 歩道のない道路では、原則右側通行を守り、車に十分気をつけましょう。
- 大声で話すなど、近隣住民の方に迷惑をかける行為は慎みましょう。
- ゴミは各自で持ち帰りましょう。
- 自然や歴史的建造物を大切にしましょう。



昭和区のマスコット ショウちゃん